

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年2月16日（水）

2 確認箇所

2・3号機建屋西側

3 確認項目

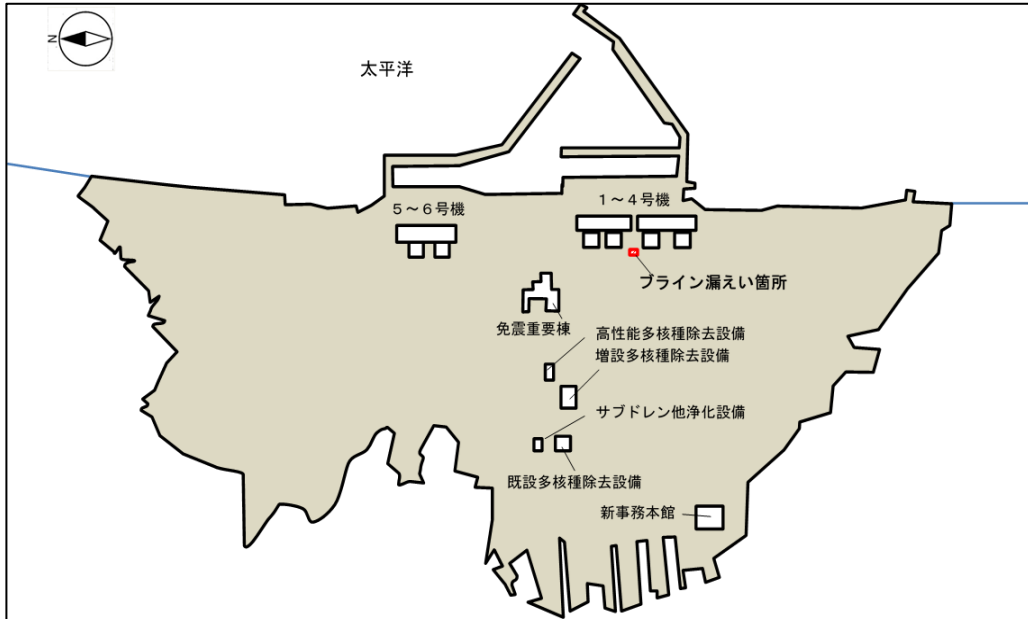
陸側遮水壁におけるブライン（冷媒）の漏えい状況

4 確認結果の概要

東京電力では、千島海溝津波襲来時の陸側遮水壁のブライン漏えいリスク低減を目的として、緊急時に遠隔で操作ができるよう、陸側遮水壁に電動弁を追設しており、昨日（2月15日）、電動弁の動作試験を実施していたところ、ブラインタンクの液位低下が発生したため、試験を中止し、液位が低下した原因を調査した。

その後、2・3号機建屋の西側（6BLK-H1エリア）に設置されているブラインを凍結管に送るための配管（母管）の接続部からのブラインの漏えいが確認されたことから、その後の対応状況を確認した。（図1）

- ・現場では配管の接続部を覆っていた保温材が既に取り外されていた。作業員は漏えい箇所の調査をするため、配管（接続部周辺）を覆っている保温材の表面に付着した霜を取り除いていた。（写真1）
- ・漏えい箇所は昨日中に隔離されており、現場確認時の漏えいは配管内に残存した少量のブラインの滴下のみであった。（写真2）
- ・漏えいしたブラインはホースで吸引し、白い樹脂製のタンク内に回収されていた。（写真3）
- ・東京電力は、漏えい箇所の状況を調査した上で原因の特定並びに復旧作業を行うとしている。



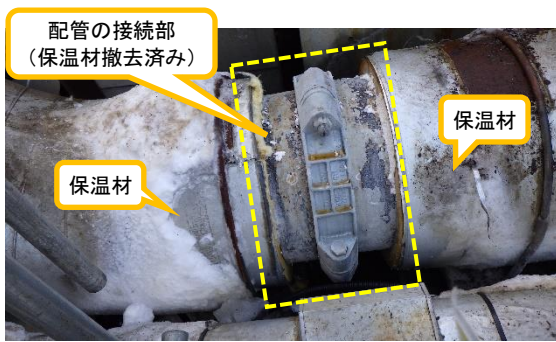
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
表面の霜を取り除く作業員



(写真1-2)
取り外された保温材



(写真 2-1)
 ブラインの漏えい箇所
 画像中央の接続部 (下部) より漏えい



(写真 2-2)
 漏えいしたブラインの一部が溜まった箇所
 (配管の接続部の下側を接写)



(写真 3)
 回収されたブライン

- 5 プラント関連パラメータ等確認
 本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。